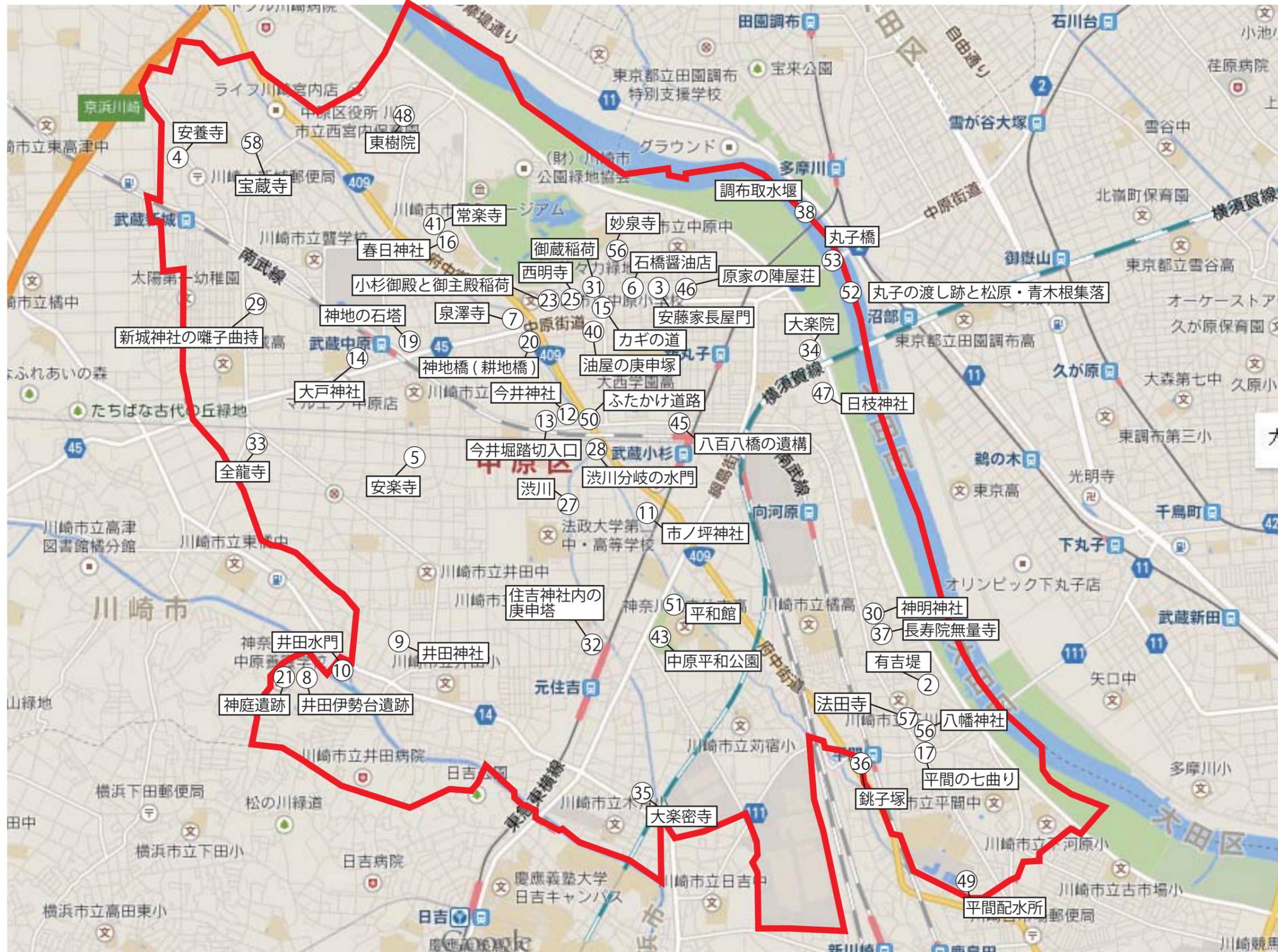


中原区の魅力資源

< 歴史的資源 >



中原区の歴史的資源

番号	地図有無	名称	所在地	備考
1		U字溝	中原区上小田中	上小田中に残る二ヶ領用水の流れのあと。U字状に曲がりくねっている。
2	○	有吉堤	中原区	明治末年から連続した多摩川大洪水の被害に泣いた住民たちがアミガサをかぶって決起し、築堤を要求した。この要求によって築造された堤防。当時の県知事の名前をとって名付けられた。
3	○	安藤家長屋門	中原区小杉陣屋町	中原街道沿いに残る名主家の長屋門。幕末頃の建築で、代官から拝領したとの伝承をもつ。市の重要歴史記念物。
4	○	安養寺	中原区上新城1-9-5	寺伝では永禄10年開山、曹洞宗。現在の本堂などは昭和41年再建。近年には不動堂が完成。中原七福神（福祿寿）。
5	○	安楽寺	中原区下小田中1260	16世紀前半建立の寺。明治18年に住職が15歳～25歳を対象とした中等教育の「市立自習学校」を創立。昭和18年に廃止となったが、卒業生は3500人を超える。
6	○	石橋醤油店	中原区小杉陣屋町	明治3年から醤油の醸造を始めた石橋醤油店の商標はキッコー文山。この近くの地域では、神地の「朝陽」、「ふんどん東陽」などいくつか醤油づくりが展開された。
7	○	泉澤寺	中原区上小田中7丁目20-5	戦国時代に豪族吉良氏によって開創された浄土宗の寺。本堂は18世紀後半の再建。銅像阿弥陀如来、木造四天は市重要歴史記念物。
8	○	井田伊勢台遺跡	中原区井田	弥生時代の墓を伴う集落遺跡で、神庭遺跡の東側にある。
9	○	井田神社	中原区井田372	もと神明社。明治39年に大神宮・第六天社・杉山社が合祀され井田神社となる。
10	○	井田水門	中原区井田杉山町・井田中ノ町	二ヶ領用水をそれぞれの村の田圃に分ける装置。
11	○	市ノ坪神社	中原区市ノ坪54	もとは第六天社。大正5年に大神宮と合祀され、昭和48年に市の坪神社と改称。
12	○	今井神社	中原区今井上町19-7	もとは、山王社。明治43年に村内の稲荷社・弁天社（厳島神社）を合祀して今井神社と称する。
13		今井堀踏切入口	中原区	神地橋から今井神社の脇を流れる小さな堀（今井堀）にかかっていた踏切の跡。信号機の標識にのみ名残をとどめる。
14	○	大戸神社	中原区下小田中1-2-8	中原街道に面する。もとは戸隠明神。この地域の有力者・内藤内匠之助がこの村に移住した際に勧請した。祭神は手力男尊、宇賀神。
15	○	カギの道	中原区小杉御殿町	中原街道は、西明寺の前で左で直角に曲がり、すぐ先で今度は右へ直角に折れる。城下町によく見られる見通しを妨げる防衛上の工夫は小杉御殿のために施された。
16	○	春日神社	中原区宮内4-12-2	天児屋命を祭神とする神社で、溝のロデルタの微高地に鎮座している。創建は古代にさかのぼり、神社背後には禁足地がある。県重文の鰐口がある。
17	○	平間の七曲り	中原区	「神奈川荏原街道」の一部、平間の「銚子塚」から「平間の渡し」までの300mの間にあり、江戸幕府が江戸城を守るための防衛手段だった、戦いのとき敵を迷わせるためのものだったとも言われている。
18		金井観音	中原区宮内	江戸時代に名主の家から水帳を盗んだ村人がその罪を問われて処刑されたのを村人が同情して観音を祀りその霊を弔った祠。
19	○	神地の石塔	中原区上小田中	旧中原村役跡前の街道西側の庚申塔・地藏尊・水天宮などおおくの石造物。門前市が栄えた当時の信仰を今に伝える。
20	○	神地橋（耕地橋）	中原区小杉御殿町	二ヶ領用水本流が中原街道と交差する場所にある橋。地名は「耕地か、春日神社の「神地」からの転訛かは不明。
21	○	神庭遺跡	中原区井田3丁目	県立中原養護学校敷地内で発見された縄文時代中期から古墳時代の大規模な集落遺跡。
22		小杉上丸子堀跡	中原区宮内	二ヶ領用水の小杉堀・上丸子堀は深さ30cm位。現在は雨水の排水溝となっているが、水はきれい。

番号	地図有無	名称	所在地	備考
23	○	小杉御殿と御主殿稲荷	中原区	平塚の中原と江戸城を行き来する家康の送迎のため、二代將軍秀忠が1608年に建てその後増築された小杉御殿は、將軍が鷹狩をかねて民情視察をした際に休息所として使われた。中心的な建物「御主殿」跡地には御主殿稲荷が祀られている。
24		小杉陣屋と小泉次大夫	中原区	二ヶ領用水の開削にあたった小泉次大夫が工事の指揮監督にあたるため設置した陣屋のあと。
25	○	西明寺	中原区小杉御殿町1-906	有馬にあった西明寺が室町時代の初めに現在の場所に移されたと伝えられている。中興の祖は北条時頼と伝えられる弁才天が出世弁天として祀られている。中原七福神（大黒天）
26		地藏尊と井田堀跡	中原区上小田中	中原街道と井田堀の交差点に祀られた地藏尊。地元の祭や都市の位置が開かれる中心地であった。
27	○	渋川	中原区	上平間と中丸子の境を流れる排水路。
28	○	渋川分岐の水門	中原区今井仲町	悪水落としにつかわれた渋川が二ヶ領用水から分岐し始まる場所
29		新城神社の囃子曲持	中原区	もとは神明社。明治時代に天満宮・杉山社など村の鎮守を合祀して新城神社と称する。新城の囃子曲持ちは市指定の民俗芸能。
30	○	神明神社	中原区中丸子492	羽黒権現として明暦2(1656)年に建立され、明治時代に神明大社となった。双体の道祖神などが14基裏手に並んでいる。1月7日と8日にオビシヤとよばれる神事（大々縄振り行事）が行われる。6月8日は弁天の水神祭。例祭は10月8日。
31	○	御蔵稲荷	中原区小杉陣屋町	小杉御殿の御蔵あたりに祀られた稲荷社。石段に街道周辺の木橋や土橋を石橋に替えた野村文左衛門の銘が刻まれてた旧石橋が使われている。
32	○	住吉神社内の庚申塔	中原区木月1-20-1	もとは矢倉明神社、大神宮、八幡者、子ノ神社、八雲社、春日社、白山社、稲荷社、諏訪社、神明社、天神社が合祀され住吉神社となる。周辺にあった石造物が保存のためあつめられている。
33	○	全龍寺	中原区下小田中5-3-15	天正年間までは逆翁山乗泉寺といったが、その後福聚山全龍寺と改める。本尊十一面観音坐像、午年のみ開帳。石造小林正利坐像は市の指定文化財。
34	○	大楽院	中原区上丸子八幡町1522	真言宗豊山派。もとは日枝神社の神宮寺。中原七福神めぐり（恵比寿）。本堂脇壇の木造釈迦如来（市指定文化財）は、戦国時代の領主吉良氏による発願で、家臣団の名前なども刻まれている
35	○	大楽密寺	中原区木月1492	真言宗智山派。開山は不詳、中興開山は元文6（1741）の寂。現在の本堂は近年の再建。中原七福神めぐり（布袋尊）。
36	○	銚子塚	中原区田尻町2064	幸区下平間の軽部五兵衛家屋敷内にたてられた赤穂浪士の隠宅を建設した大工・喜右衛門が赤穂浪士・富森助右衛門から別離の宴で贈られた銚子を祀った塚。
37	○	長寿院無量寺	中原区中丸子498	瑠璃光山長寿院。本尊は阿弥陀如来。1580年に開創、村の豪族、野口七左衛門が帰依し、菩提寺とした。7月23日は地藏尊会。子育て地藏、枝豆地藏とよばれ賑わう。中原七福神（寿老人）。
38	○	調布取水堰	中原区	飲料・工業用などに利用したり、氾濫を未然に防ぐために水をせき止める施設。多摩川に9つある堰之内もっとも下流。防潮堤の役割も果たし魚道も設置されている。
39		附木屋前の供養塔	中原区小杉御殿町	西明寺の前からカギ形の道をまがったところにある供養塔。側面に武州橋樹郡稲毛領小杉駅「東江戸 西中原」と刻まれている。
40		油屋の庚申様	中原区小杉	カギの道を府中街道に向かって西へ進むと横道へ入る門に祀られている庚申様。油屋の屋号を持つ家の門にある、道標をかねた庚申塔で、東江戸道 西大山道 南大師道」と刻まれている。
41	○	常楽寺	中原区宮内4-1-14	春日山医王院と称する真言宗智山派の寺院。縁起によると奈良時代に聖武天皇の御願所として開かれた。現在の本堂は江戸時代元禄頃に建立。本尊は聖観音菩薩立像。襖などに描かれたまんがからまんが寺とも呼ばれる。
42		中原街道の陶板	中原区	神地橋から武蔵中原の左右の歩道には、昔の生活や風景をイメージした陶板が34枚設置されている。
43	○	中原平和公園	中原区木月住吉町33	戦後、米軍の施設として接収されていた土地が返還されたことを契機につくられた公園。
44		中丸子南緑道 玉川橋	中原区	渋川を暗渠にしてつくられた緑道・横断する道路と多摩川橋の親柱・欄干が残る。
45		八百八橋の遺構	中原区	江戸時代中期に丸子通りの商人が中原街道沿いの村々につくった橋が多数ある。そのうちいくつかは遺されている。区役所正面玄関脇、大楽院、日枝神社、石橋醤油店、JR武蔵小杉駅北口広場、八幡大神、神明大神、お蔵稲荷、神明神社。

番号	地図有無	名称	所在地	備考
46		原家の陣屋荘	中原区	石橋総本家の原家の主屋。昭和23年から昭和36年までは割烹として営業。母屋は日本民家園に移築された。表門は中原街道に面して現地に残されている。
47	○	日枝神社	中原区上丸子山王町1 - 1555	丸子荘鎮守として日吉神社から勧請された古社。本殿、所蔵の古文書は市重要歴史記念物。1月に行われる歩射祭、どんど焼きがある。
48	○	東樹院	中原区宮内1 - 11 - 1	大栄山東樹院多聞寺。本尊は不動明王。15世紀半ばにこの地の豪族石井氏が毘沙門天の社があるのを見てここを霊地と定め、一族の墳地とし、その後江戸時代初期にお堂が建てられたという。中原七福神めぐり（毘沙門天）
49		平間配水所	中原区	旧平間浄水場。臨海部の工業地帯へ工業用水を供給した。日本で初の工業用水供給施設。
50		ふたかけ道路	中原区今井仲町	二ヶ領用水今井堀。用水堀に蓋がかけられ歩道になっているところ。
51	○	平和館	中原区木月住吉町33 - 1	平和に関する映像や情報、学習資料を提供するとともに、川崎大空襲記録展や原爆展等を開催。
52		丸子の渡し跡と松原・青木根集落	中原区	昭和10年に丸子橋が完成するまで中原街道上の多摩川渡河の唯一の交通手段だった。青木根・松原の集落は有吉堤の築堤により消滅。
53	○	丸子橋	中原区	中原町長安藤安がすすめ、昭和10年に架橋。丸子の渡しにかわる交通手段として近代化に貢献。
54		宮戸橋	中原区	二ヶ領用水を川崎堀から木月堀へ分岐させた地点。竹で編んだかごに石を入れて沈め、流れをせき止め、木月堀へ流した。
55	○	妙泉寺	中原区小杉陣屋町2 - 736	小泉次大夫が安房から僧日純を招いて二ヶ領用水開削の無事完成を祈願した寺。のちに川崎区砂子へ移る。
56	○	八幡神社	中原区上平間299	多摩川大洪水の際に流失した府中の上石原八幡宮社殿の御霊を祀ったのが始まりだと伝えられている。明治6年村社に列格、明治43年上平間の無格社須賀神社、天満宮、神明宮を合祀したといわれている。
57	○	法田寺	中原区上平間244	法田寺は、宝蔵院日光（寛永19年1642年寂）が開基となり、慶長11年（1606）に創建したと言われる。現在は、子どもから大人まで誰でも気軽に参加できる行事もあり、地域の人々のコミュニティづくりにも寄与している。
58	○	宝蔵寺	中原区上小田中1-4-13	この寺は、永正17年（1520）創建、天文年中の再建、原勘解由左衛門勝光を開基としている。弁財天が祭られ、なかはら七福神巡りの一つになっている。